

袋井市 袋井ハローこども園 園長 鈴木 康先生

今回、西部地区「ぶらんこ」で取材させて頂いた袋井ハローこども園は、設置者 社会福祉法人 愛光会 定員数一〇名、所在地は袋井市の北西部にあります。近くには遠州三山の一つ萬松山可睡斎があり、自然豊かな田園風景が広がる地域となっております。若い世代も多く住んでいるようです。また、令和二年度四月一日より、保育園から幼保連携型認定こども園へ移行しました。

取材当日は良く晴れており、遠くからでも地域のランドマークとなっている、こども園のシンボルの赤い三角の屋根を綺麗に見るこ



とが出来ました。取材は園長先生にのみお伝えしてあげましたが、職員の皆様を始め、子ども達も清々しい笑顔でお出迎えてくれたのが、とても好印象でした。 保育室全



した。

また、建物内には、子育て支援センターが設置されており、地域の子育て世代の大きな味方になっている事が伺えます。そして、園庭に関しては、とても広く、更に二つもあり、駐車場も別に完備しており園舎以外のところも充実していました。 撮影を兼ねて園内を見学させていた



体として、ヒノキが多く使われた木のぬくもりが感じられる作りとなっており、足を一歩入れれば、木の良い香りが感じられる、とても素敵な空間になっていま

いた際に、二歳児の子ども達が、おままごとと熱中している様子がとても印象的で、おもちゃの充実さが見てわかりました。そして、同じクラスのお友だちのやりとりが微笑ましく感じられ、園庭においては、ログハウスから子どもが顔を出しながら、初めて来た私たちにも可愛らしく挨拶



をしてくれました。また、周りの自然を生かし、子どもたちが採取した「昆虫」を図鑑で一生懸命調べている様子がとてもキラキラした良い表情で見られ、自発的に「学ぶ」事への導きを行っている場面も多く見られました。 様々な情勢の中、取材にご協力していただきました事を感謝申し上げます。

